

# 施策評価シート

評価実施年度：令和元年度

幹事部局

商工労働部

<p>施策の名称</p>	<p>施策 I-1-3 ソフト系 IT 産業の振興</p>
<p>施策の目的</p>	<p>多様化、高度化する顧客ニーズに対応できる情報産業群の形成に向け、IT 技術者を育成するとともに、大都市からの業務の獲得を支援し、県内のソフト系 IT 産業の技術開発力・競争力の強化、ビジネス拡大を目指します。</p>
<p>施策の現状 に対する評価</p>	<p>(IT 技術者の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT エンジニア数は引き続き増加傾向にあるが、あらゆる産業が IT エンジニアを積極的に採用する傾向にあり、人材の獲得競争が激化している。</li> <li>実践的な技術習得講座の開催等、即戦力となる IT 人材の確保に向けた支援等を行っているが、県内 IT 企業の 7 割以上が IT エンジニア不足を訴えており、大学・高専等の学生には県内 IT 企業の魅力が十分に伝えきれてない。</li> <li>また県内 IT 企業には専門高校での生徒の実践的な技術習得レベルがまだ十分に伝わっていない。</li> </ul> <p>(技術開発力・競争力の強化、ビジネス拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内 IT 企業向けの技術・ビジネスの講習会を実施し、受講者は 996 人と前年度比 16% 増加した。</li> <li>県内ソフト系 IT 業界では、売上高は引き続き伸びているものの、鈍化しており、経常利益額は 13.2 億円と前年度比 4.1% 減少している。より収益性の高い自社サービス・製品への意識醸成の機会や事業アイデアを想起する機会を十分に提供できていない。</li> </ul> <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材確保が喫緊の課題であるため、県外 IT エンジニアを対象とした県内 IT 企業見学ツアーを実施した。</li> </ul>
<p>今後の取組み の方向性</p>	<p>(IT 技術者の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校生徒・学生を対象とした県内 IT 企業を見学、交流する機会を創出し、県内 IT 企業への就職意欲を醸成するとともに、企業の県内教育機関からの採用意欲も一層高める。</li> <li>県内 IT 企業や若者を対象に事業アイデアを想起し、ブラッシュアップする機会や最新技術を習得する機会を提供することで、県内 IT 産業の今後の「成長の芽」を育む。</li> </ul> <p>(技術開発力・競争力の強化、ビジネス拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成長を伴走型で支援することで、付加価値の高い新サービス・製品を開発するなど、収益性の高い業態への転換を支援する。</li> </ul>

## 施策に関連する指標の一覧

施策の名称	施策 I - 1 - 3 ソフト系 IT 産業の振興
-------	----------------------------

施策の目的達成に向けて取り組む事務事業において設定している主な成果参考指標

項番	施策の成果参考指標	指標名	平成27年度	平成30年度		令和元年度	単位
			実績値	目標値	実績値	目標値	
1	○	ソフト系 IT 産業の技術者数	1,284.0	1,475.0	1,526.0	1,550.0	人
2	○	ソフト系 IT 産業の年間売上高	228.0	267.0	244.3	280.0	億円
3	○	UI ターン支援により確保した技術者数（4年間の累計）	—	60.0	56.0	80.0	人
4		デジタルコンテンツ産業振興事業の参加者の満足度（5段階評価の平均）	4.9	4.7	4.6	4.7	点
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

事務事業の一覧

施策の名称	施策 I - 1 - 3 ソフト系IT産業の振興
-------	--------------------------

	事務事業の名称	目的 (誰(何)を対象として、どういう状態を目指すのか)	前年度 事業費 (千円)	今年度 事業費 (千円)	所管課名
1	しまねIT産業振興事業	県内のソフト系IT企業の人材を確保し、技術力・開発力の向上による事業拡大を目指します。	272,381	335,791	産業振興課
2	デジタルコンテンツ産業振興事業	県内のデジタルコンテンツ制作企業の事業拡大と、デジタルコンテンツを活用したビジネスの進展を目指します。	3,566	10,113	産業振興課
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-1-1 企業の競争力強化
-------	-------------------

1 事務事業の概要

担当課	産業振興課
-----	-------

名称	しまね I T 産業振興事業				
目的	誰(何)を 対象として	県内のソフト系 I T 企業	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どうい う状態 を 目指す のか	人材を確保し、技術力・開発力の向上による事業拡大		272,381	335,791
			うち一般財源	208,800	306,477
今年度の 取組内容	県内の I T 産業が持続的に発展することを目指し、人材育成・確保、技術力・商品力の強化、情報発信・販路開拓等の支援を通じて各企業が国内外で売れる商品・サービスを構築していくことを促進する。 1. 人材育成・確保支援（県内 I T 企業を対象に実践的な技術習得講座の開催、若年層の I T 講座の開催、即戦力となる I T 人材の確保に向けた支援等） 2. 技術力・商品力の強化支援（自社固有製品等の開発、異業種連携による新サービス創出への支援等） 3. 情報発信・販路開拓支援（先進ビジネス及び技術の情報収集と情報発信、独自製品を持つ県内企業の販路開拓支援等）				
前年度に行った 評価を踏まえて 見直したこと	人材確保が喫緊の課題であるため、県外 I T エンジニアを対象とした県内 I T 企業見学ツアーを実施。また、島根大学情報系学生に向けた県内企業が指導する講座を選択科目から必修科目に変更。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	ソフト系 I T 産業の売上高	目標値	190.0	240.0	254.0	267.0	280.0	億円
			(取組目標値)						
	式・ 定義	島根県情報産業協会「ソフト系 I T 業界の実態調査」ソフト系 I T 産業の売上高（前年度実績値）	実績値	228.0	230.4	230.7	244.3		
			達成率	120.0	96.0	90.9	91.5	-	%
2	指標名	ソフト系 I T 企業の従事者数	目標値	1260.0	1324.0	1400.0	1475.0	1550.0	人
			(取組目標値)						
	式・ 定義	同協会「ソフト系 I T 業界の実態調査」ソフト系 I T 産業の従業員数（前年度実績値）	実績値	1284.0	1381.0	1441.0	1526.0		
			達成率	102.0	104.4	103.0	103.5	-	%
「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など 【島根県情報産業協会「ソフト系 I T 業界の実態調査」】 ・経常利益額 13.2億円（前年度比4.1%減）。 ・Ruby開発売上 16.3億円（前年度比58.4%増）。 ・ I T エンジニア数の不足を訴える企業の割合 71.6%（前年度77.5%）。 【国内 I T 市場での成長領域】 調査会社の報告によれば、 AI等を利用した分析サービスや、 AI環境を構築するためのコンサルティング、開発等を含めて2018年度の国内市場全体の規模は5301億円の見込みが、2030年度には2兆1286億円に拡大すると予想されている。									

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>しまねソフト研究開発センターへの企業相談件数は、313件と高水準で推移。</li> <li>県内 I T 企業向けの技術・ビジネスの講習会への受講者は、996人（前年度比16%増）。</li> <li>技術開発、新製品・サービス開発の助成金の採択実績は、15件（前年度比25%増）。</li> <li>小中高生、大学生向けのプログラミング講座の参加者数は、597人（前年度比31%増）。</li> <li>県内 I T 企業に転職した U ターン・エンジニア数は、19名（対前年度比18.8%増）。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため（又は達成した状態を維持するため）に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に I T 産業に限らず、あらゆる産業が I T エンジニアを積極的に採用する傾向にあり、人材の獲得競争が激化しており、県内 I T 企業の7割以上が、 I T エンジニア不足を訴えている。</li> <li>全国的な I T 需要の活況により各企業とも受託事業の獲得業務量は安定しているが、自社で新サービス・製品の創出を目指す企業は、市場ニーズを捉えることが出来ない等により新サービス・製品の開発が進んでおらず、 I T 産業全体での売上の伸び率は鈍化している。</li> </ul>
	② 上記①（課題）が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学、高専の学生に県内 I T 企業の魅力が十分に伝わっていない。専門高校の生徒に、 I T 産業に就職することの魅力が十分に伝わっていない。また、県内 I T 企業に専門高校での習得レベルや授業内容について十分に情報が伝わっていない。</li> <li>より収益性の高い自社サービス・製品の開発への意識醸成の機会や、事業アイデアを想起する機会を十分に提供出来ていない。</li> </ul>
	③ 上記②（原因）の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校生徒・学生を対象にした県内 I T 企業を見学、交流する機会を創出し、県内 I T 企業への就職意欲を醸成するとともに、企業の県内教育機関からの採用意欲も一層高める。</li> <li>県内 I T 企業や若者を対象に事業アイデアを想起し、フレッシュアップする機会や最新技術を習得する機会を提供することで、県内 I T 産業の今後の「成長の芽」を育む。また、事業の成長を伴走型で支援することで、付加価値の高い新サービス・製品を開発するなど、収益性の高い業態への転換を支援する。</li> </ul>

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	しまねIT産業振興事業
---------	-------------

項番	成果参考指標名等		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
3	指標名	Uターン支援により確保した技術者数(4年間の累計)	目標値		20.0	40.0	60.0	80.0	
			取組目標値						
	式・定義	県のIT技術者のUターンに特化した人材マッチング事業により確保した技術者の数	実績値	25.0	21.0	37.0	56.0		
			達成率	—	105.0	92.5	93.4	—	%
4	指標名	IT人材育成事業受講者数(4年間の累計)	目標値		360.0	720.0	1,080.0	1,440.0	
			取組目標値						
	式・定義	(一社)島根県情報産業協会及び(公財)しまね産業振興財団が実施する技術講座受講者数等	実績値	170.0	789.0	1,606.0	2,049.0		
			達成率	—	219.2	223.1	189.8	—	%
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	—	—	—	—	—	%

事務事業評価シート 評価実施年度： 令和元年度

上位の施策	施策 I-1-1 企業の競争力強化
-------	-------------------

1 事務事業の概要

担当課	産業振興課
-----	-------

名称	デジタルコンテンツ産業振興事業				
目的	誰(何)を対象として	県内のデジタルコンテンツ制作企業	事業費 (千円)	前年度実績	今年度計画
	どういう状態を目指すのか	事業が拡大し、デジタルコンテンツを活用したビジネスが進展する		3,566	10,113
今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコンテンツ産業を担う人材育成を図るため、県内の企業やクリエイターに対して、プロデューサー及びクリエイター養成講座を開催する。</li> <li>地域のコンテンツを活用した新たなビジネスモデルを創出するため、県内企業に対して、コンテンツビジネス創出に係る経費の助成やデジタルコンテンツ機器の貸出を行う。</li> </ul>				
前年度に行った評価を踏まえて見直したこと	コンテンツ事業に取り組む企業の経営者、事業者を訪問し、経営戦略・事業戦略、それらの課題等のヒアリングを行う。				

2 成果参考指標等の状況

成果参考指標		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
1	指標名	本事業の参加者の満足度	目標値		4.7	4.7	4.7	4.7	点
	式・定義	5段階評価の平均	(取組目標値)						
			実績値	4.9	4.8	4.3	4.6		
			達成率	-	102.2	91.5	97.9	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		(取組目標値)						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

「成果参考指標」の他に参考とすべきデータや客観的事実など

【総務省「平成30年版 情報通信白書」コンテンツ市場の動向】

- 我が国の2016年のコンテンツ市場規模は、11兆6,986億円となっている。ソフト別の市場構成比では、映像系ソフトが全体の55.7%、テキスト系ソフトが37.3%、音声系ソフトが7.0%をそれぞれ占める。
- コンテンツ市場全体の市場規模は、2012年以降、増加傾向で推移している。

3 「取組内容」に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組みによる改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロデューサー養成講座(計6回)では、コンテンツ制作・編集、流通の事業に関心を持つ個人、事業者が延べ56名参加。</li> <li>地域素材を利用したコンテンツで世界市場を狙う事業者や、コンテンツ業界で著名な制作者がUターン(法人設立)により県内で制作活動を行うなど、コンテンツビジネスに取り組む事業者が県内でも増え始めている。</li> </ul>
課題分析	① 「目的」の達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内でコンテンツビジネスに取り組む事業者は、資金や体制が脆弱であり、事業計画を迅速に進めることが困難である。</li> </ul>
	② 上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営戦略、事業戦略の策定などへの支援が不十分である。</li> </ul>
	③ 上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者からの経営・事業戦略の相談対応から必要な助言、及び助成金交付を通じた事業化の加速支援や講習会の開催などは、しまねIT産業振興事業の支援施策の一つとして、より効率的に取り組んでいく。</li> <li>なお、デジタルコンテンツ室の設備・機器は、地元メディア、関連制作会社が映像等の編集を目的に利用されることが多いものの、全体として利用回数は多くなく、また特定の設備・機器の利用に偏っているため、今後は基本的に設備・機器の更新はせず、また、修繕も利用実績のあるものに限定するとともに、高額な修繕費を要する場合はその実施を慎重に判断する。</li> </ul>